

①事業の基礎情報

| | | | | | | | | | | |
|---------------|---------------------|--|------------|----------|-----------|---------------------|-----|-------------|------------|-----------|
| 事業名 | めざす子ども像推進事業 | | | | 担当部・グループ名 | 教育委員会 教育センターグループ | | | | |
| 実施期間 | 平成 26 年度～平成 29 年度 | | | | 担当 GL 氏名 | 内藤 克己 | | | | |
| 新規・継続の別 | 新規事業 | | | | 電話番号(内線) | 52-1111(内線 350) | | | | |
| 縦(計画(基本計画)体系) | 個別目標 | (4)学校・家庭・地域が連携を深め、 12年間の学びや育ちをつなげます | | | | 予算書上の 事業名 | 款 | 10 款 教育費 | | |
| | こんなことに取り組みます | 高浜市として育てていきたい子どもの姿を策定し、地域ぐるみで子どもの成長を見守り、手助けする教育基盤づくりを進めます。 | | | | | 項 | 1 項 教育総務費 | | |
| | | | | | | | 目 | 1 目 教育委員会費 | | |
| | みんなで目指すまちづくり 指標名 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校が好きと感じている子どもの割合 ・学習に積極的に取り組む子どもの割合 | | | | | 事業名 | 1 教育委員会運営事業 | | |
| 現状値(H25) | ・82 ・69 | 実績値(H26) | ・88 ・77 | 実績値(H27) | | 実績値(H28) | | 目標値(H29) | ・85 ・75 | (単位) % |

②事業の概要

| | | | | |
|--------------------------|--|--|-------|--------|
| 目的 (何をどうするために) | <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の理念である「生きる力」、いわゆる「確かな学力」、「豊かな人間性」、「健やかな体」の3つの力をバランスよく、確実に育むため。 ・各園、各校が12年間の学びや育ちを切れ目なくつなぐことを意識した保育・教育を実践するため。 ・子どもの教育を、学校だけでなく、家庭・地域と連携しながら、地域ぐるみで取り組む基盤を作るため。 | | | |
| 対象(誰・何を対象に) | 市内すべての年長児、小学6年生、中学3年生 市内すべての幼保小中職員、すべての保護者、地域 | | 対象の数量 | 11園、7校 |
| 最終目標 (最終的に何がどうなれば達成か) | <ul style="list-style-type: none"> ・教職員に「高浜市として育てていきたい子どもの姿」が浸透し、発達段階に応じた教育が展開されている。 ・保護者や地域住民の間でも「高浜市として育てていきたい子どもの姿」が意識され、家庭・地域も一体となって、未来市民である子どもたちを育てていくという意識・機運が高まっている。 ・それぞれの年齢に応じた生活習慣や学習習慣を身につけた子どもが増えている。 | | | |

③事業にかかる事業費概要

| 平成 26 年度 (当初) | | 決算 | 主な内容 | |
|---------------|------|--------|------|--|
| 事業費総額 (千円) | | — | 130 | 異校種間連携推進委員会の指導講師への謝礼 1回3万円×年間5回開催 (アクションプラン No.18、No19、No.20 の事業内容の指導を受けた。) |
| 財源内訳 | 一般財源 | — | 130 | |
| | 特定財源 | 国・県支出金 | — | |
| | | その他 | — | |
| 補助事業・単独事業の別 | | 単独事業 | 単独事業 | |

④平成 26 年度の実施内容（目指す姿の実現に向けて、どんなことに取り組んできたのかを整理する）

| 実施内容 | 何を・どうした ※箇条書きで記載する | いつ(年月) | アウトプット |
|-------------------------|---|---------|---------------------|
| | ①異校種間連携推進委員会にて、生活習慣・学習習慣（めざす姿）の目安の周知方法を検討した。 | H26.5~8 | 異校種間連携推進委員会 5回開催 |
| | ②異校種間連携推進委員会にて、生活習慣・学習習慣の目安を周知するためのカレンダーや周知用ポスターのデザインについて検討した。 | H26.8 | |
| | ③教育基本構想推進の様子を家庭や地域に可視化するため、カレンダーに各校各園の活動写真や連携交流事業日程を掲載したデザインにした。 | H27.1 | H28年1月 最終案まとめる |
| | | | |
| 進捗状況 | 当初に掲げた計画どおり、順調に進めることができた。 | | |
| 実施内容に対する成果 (事業の自己評価) | <ul style="list-style-type: none"> ☆ 園・学校、家庭、地域の共通の目安として、目指す姿を具体的に示すことができた。 ☆ 園・学校、家庭、地域が連携を大切にしながら子どもを育てていく具体的な機会を設定することができた。 ☆ カレンダーやポスターを活用することで、教育行政方針の趣旨をわかりやすく可視化することができた。 | | |

⑤課題と今後の取組みの方向性（平成 26 年度を振り返り、課題を抽出し、今後の取組みの考え方を整理する）

| 課題 | 今後の取組みの方向性 |
|--|---|
| <u>(1) 周知用カレンダー配布後の働きかけ</u> ・カレンダーの中に、「めざす子ども像」だけでなく「異校種間連携」や「学校家庭地域協働」など、基本構想でめざす内容も盛り込まれている。配って終わりではなく、どのように学校や家庭で活用するのか。効果的な使い方を紹介していく必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・異校種間連携委員会の場で、各校各園で実践する効果的な使い方を紹介し合い、自校自園に生かしていく。 |

⑥課題解決に向けた平成 27 年度の具体的なアクション（案）

| 計画(案) | 何を・どうする ※箇条書きで記載する | いつまでに(年月) |
|-------|---|-----------------|
| | ①異校種間連携事業の年間行事計画を作成し、事業予定や活動写真をカレンダーに掲載する。 | H27.4 |
| | ②各園各校 PTA 総会で各習慣の育成の意義やカレンダーについて説明、協力依頼する。 | H27.4 |
| | ③カレンダーを園児児童生徒各家庭、関係機関に配布する。 | H27.5 |
| | ④5月と12月をあいさつ強調月間として、各園・各校であいさつ運動をする。 | H27.5 H27.12 |
| | ⑤7月と10月を読書強調月間として、市立図書館と連携し、推進キャンペーンを実施。さらに、第3日曜日の家庭の日を「ノーテレビ、ノーゲーム、ノー携帯、家族で読書デー」と設定し、広報や新聞等を通して啓発する。 | H27.7 H27.10 |

| 特記事項 | |
|------|--|
|------|--|